

「第5次上郡町総合計画」策定のための  
全世帯アンケート  
(前回平成17年度住民アンケートとの比較)

平成27年1月

上郡町 企画政策課



# 「第5次上郡町総合計画」策定のための全世帯アンケート結果 (前回平成17年度住民アンケートとの比較)

## 目 次

	ページ
平成17年度住民アンケートについて	2
問1 関連 (上郡町の)どんなところに愛着や誇りを感じていますか	3
問1 関連 まちの良さをそこなっていると感じていること(もの)	3
問2 関連 望ましい将来の姿	4
問3 関連 今後とも住み続けたいですか	5
問4 関連 住み続けたい理由は何ですか	6
問5 関連 移りたい理由は何ですか	7
問6 関連 職場、学校以外で行われている活動への参加の程度	8
問8 関連 活動に参加されない理由	9
問9 関連 老後に不安を感じる事	9
問10 関連 高齢社会への対応として望ましいこと	11
問11 関連 少子化対策として必要なこと	12
問12 関連 保健・医療対策について、力を入れたら良い施策	13
問13 関連 教育・文化・レクリエーションで力を入れたら良い施策	14
問14 関連 交通体系で力を入れたら良い施策	16
問15 関連 鉄道利便性について、力を入れたら良い施策	17

## 平成17年度住民アンケートについて

### (1) 調査対象

町内の18歳以上の住民の方から3,000人を無作為抽出。

### (2) 調査方法と調査時期

平成17年8月27日から9月9日の間に、郵送で発送、郵送で回収を行った。

### (3) 回収結果

配布数	3,000
回収数	1,751
回収率	58.4%

#### ○男女別

区分	1.男	2.女	未回答	計
全数	786	960	5	1,751
構成比	44.9%	54.8%	0.3%	100.0%

#### ○年齢別

前回のアンケートに比べ、今回のアンケートでは10～30歳代の回答者数が少なく、逆に60～70歳代からの回答者数が増えている点に十分留意する必要があります。このため必要に応じて、以下では年齢別の回答状況も比較しています。

区分	18-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	未回答等	計
実数	61	178	196	245	406	384	276	5	1,751
構成比	3.5%	10.2%	11.2%	14.0%	23.2%	21.9%	15.8%	0.3%	100.0%

#### 【H26アンケート】

区分	16-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	未回答等	計
実数	11	48	227	382	655	1,019	831	50	3,223
構成比	0.3%	1.5%	7.0%	11.9%	20.3%	31.6%	25.8%	1.6%	100.0%

#### ○地区別

区分	1.上郡	2.山野里	3.高田	4.高田台	5.鞍居	6.赤松	7.船坂	8.光都	未回答等	計
実数	225	430	226	289	158	182	214	12	15	1,751
構成比	12.8%	24.6%	12.9%	16.5%	9.0%	10.4%	12.2%	0.7%	0.9%	100.0%

※以下、今回アンケートと比較可能な前回の設問を掲載しています。

問1 関連 (上郡町の)どんなところに愛着や誇りを感じていますか (4つまで)  
 (上郡町に愛着や誇りを感じていると答えられた方への質問)

今回のアンケートで「今の上郡町の良いところ」を尋ねた結果とほぼ同じく、前回(9年前)も8割を超える圧倒的多数の方が、「自然環境が豊か」を挙げられていました。

○愛着や誇りを感じるどころ(n=869)

区分	実数	比率
1.自然環境が豊か	729	83.9%
2.静かで心がやすらぐ	537	61.8%
3.人間環境が良好で、安心して暮らせる	419	48.2%
4.寺社など歴史的な環境に恵まれている	163	18.8%
5.生活道路や歩道が整備され、生活に便利	151	17.4%
6.福祉が進んでいる	99	11.4%
7.スポーツ・レクリエーション施設が整備されている	79	9.1%
8.広い道路などの交通体系が整備されている	55	6.3%
9.公園などが利用しやすく、整備されている	33	3.8%
10.公共施設が利用しやすく、整備されている	33	3.8%
11.各種の催しが多く、活動的である	33	3.8%
12.その他	47	5.4%
13.不明	14	1.6%
計	2,392	

【H26アンケート】

○町の良いところ(n=2888)

区分	実数	比率
1.自然環境	2,555	88.5%
2.生活環境	879	30.4%
8.道路等	695	24.1%
3.歴史環境	508	17.6%
上記以外	1,976	
計	6,613	

- 1.自然環境
- 2.日常的な生活環境
- 8.道路や下水道の整備状況
- 3.寺社などの歴史環境

問1 関連 まちの良さをそこなっていると感じていること(もの) (3つまで)  
 ○良さをそこなっていること(もの)(n=1751)

前回は主にハード面での選択肢であった一方、今回はソフト面も含めた選択肢としたため、単純な比較は困難ですが、商業施設の充実度が今回も比較的上位に挙がっています(今回上位4つは前回選択肢になかった)。

区分	実数	比率
1.商店街や商業施設が少ない	917	52.4%
2.空地に雑草がしげっている	572	32.7%
3.通りに街路樹や街灯がない	475	27.1%
4.河川や溝が汚れている	462	26.4%
5.生活道路が狭く複雑である	309	17.6%
6.家並みに個性がなく雑然としている	269	15.4%
7.電柱が古くなっていたり電線がはりめぐらされている	177	10.1%
8.その他	190	10.9%
9.特にない	148	8.5%
10.不明・無回答	162	9.3%
計	3,681	

【H26アンケート】

○町の良くないところ(n=3018)

区分	実数	比率
4.医療施設	1,826	60.5%
17.就労	1,614	53.5%
9.交通	1,558	51.6%
13.通勤通学	637	21.1%
7.商店	616	20.4%
上記以外	2,231	
計	8,482	

- 4.医療施設の充実度
- 17.就労先の数
- 9.交通の便
- 13.通勤や通学の便
- 7.商店やサービス業の充実度

問2 関連 望ましい将来の姿

前回は単数回答、今回は複数回答の設問で、かつ選択肢も異なっているので単純比較は困難ですが、最も多くの方が「自然」に恵まれたまちを希望している状況は前回と同様の結果となっています。  
 また、前回「生きがいのある福祉環境の整ったまち」が、「産業のまち」、「都市的住宅地」の次であったのが、今回は「社会福祉の整った高齢者や障がい者が元気なまち」が「自然」の次に、挙がりました。単数・複数回答の違いがありますが、高齢化の進展に伴う社会福祉への関心の高まりがうかがえるとも言えるかも知れません。

区分	実数	構成比
1.河川、農地や田畑など自然景観に恵まれたまち	481	27.5%
2.新しい工場や中小企業が盛んな産業のまち	366	20.9%
3.都市的な施設が整った居住環境の良い住宅地としてのまち	331	18.9%
4.生きがいのある福祉環境の整ったまち	305	17.4%
5.学校や文化施設などの整った教育文化のまち	161	9.2%
6.その他	46	2.6%
7.不明・無回答	61	3.5%
計	1,751	100.0%

【H26アンケート】

○10年後の理想像(n=3147)

区分	実数	比率
1.自然	1,424	45.2%
3.社会福祉	1,307	41.5%
12.交通	1,063	33.8%
6.安全安心	1,026	32.6%
13.就労	1,000	31.8%
上記以外	3,362	
計	9,182	

- 1.豊かな自然が残るまち
- 3.社会福祉の整った高齢者や障がい者が元気なまち
- 12.交通の利便性の良いまち
- 6.災害や事件等の少ない安全・安心のまち
- 13.就労先の多いまち

問3 関連 今後とも住み続けたいですか

前回は、約7割の方が「(ずっと・当分の間)住み続けたい」と答え、約2割の方が「(機会があれば・すぐにでも)町外へ出たい」と答えており、9年前とほぼ変わっていません。  
また、年齢層が上がるほど、「住み続けたい」の回答割合が増加し、「町外へ出たい」の割合が減少する傾向も同じです。

区分	実数	構成比
1.ずっと住み続けたい	826	47.2%
2.当分の間は住みたい	354	20.2%
3.機会があれば町外へ出たい	289	16.5%
4.すぐにでも町外へ出たい	48	2.7%
5.町内で別の場所に移りたい	31	1.8%
6.わからない	150	8.6%
7.不明・無回答	53	3.0%
計	1,751	100.0%

区分	住み続けたい	町外へ出たい	町内別場所	わからない等	計	住み続けたい	町外へ出たい	町内別場所	わからない等	計
10歳代	26	28	0	7	61	42.6%	45.9%	0.0%	11.5%	100.0%
20歳代	91	58	3	26	178	51.1%	32.6%	1.7%	14.6%	100.0%
30歳代	97	67	3	29	196	49.5%	34.2%	1.5%	14.8%	100.0%
40歳代	150	61	3	31	245	61.2%	24.9%	1.2%	12.7%	100.0%
50歳代	294	63	7	42	406	72.4%	15.5%	1.7%	10.3%	100.0%
60歳代	303	38	7	36	384	78.9%	9.9%	1.8%	9.4%	100.0%
70歳以上	216	21	8	31	276	78.3%	7.6%	2.9%	11.2%	100.0%
計	1,177	336	31	202	1,746	67.4%	19.2%	1.8%	11.6%	100.0%

【H26アンケート】

区分	住み続けたい	町外へ出たい	わからない	計	住み続けたい	町外へ出たい	わからない	計
10歳代	1	9	1	11	9.1%	81.8%	9.1%	100.0%
20歳代	19	17	10	46	41.3%	37.0%	21.7%	100.0%
30歳代	111	88	28	227	48.9%	38.8%	12.3%	100.0%
40歳代	211	107	62	380	55.5%	28.2%	16.3%	100.0%
50歳代	411	160	82	653	62.9%	24.5%	12.6%	100.0%
60歳代	737	169	100	1,006	73.3%	16.8%	9.9%	100.0%
70歳以上	619	95	62	776	79.8%	12.2%	8.0%	100.0%
計	2,109	645	345	3,099	68.1%	20.8%	11.1%	100.0%

問4 関連 住み続けたい理由は何ですか（4つまで）  
 （「ずっと・当分の間は住み続けたい」と答えられた方への質問）

前回と同じく約7割の方が「地域になじみや愛着がある」、6割弱の方が「自然環境に恵まれている」と答えられており、変化は見られません。  
 なお、今回新たに設定した「先祖代々の家・土地を守る必要がある」という選択肢には、約4割の方が理由として選んでおり、前回時にも潜在的な理由の一つであったのではないかと推測されます。

(n=1180)

区分	実数	比率
1.地域になじみや愛着がある	836	70.8%
2.緑や自然環境に恵まれている	701	59.4%
3.騒音・悪臭などの近隣公害が少ない	444	37.6%
4.住宅に満足している	373	31.6%
5.隣近所のつきあいがよい	361	30.6%
6.ごみや下水など衛生環境がよい	190	16.1%
7.仕事や学校の都合	161	13.6%
8.通勤・通学に便利	131	11.1%
9.買い物・医療など日常生活が便利	119	10.1%
10.集会所、公民館などコミュニティー施設が充実	76	6.4%
11.歴史的な景観がある	56	4.7%
12.その他	82	6.9%
13.不明・無回答	16	1.4%
計	3,546	

【H26アンケート】

(n=2088)

区分	実数	比率
1.なじみ愛着	1,517	72.7%
3.自然環境	1,114	53.4%
15.先祖代々	864	41.4%
8.騒音悪臭	516	24.7%
上記以外	1,339	
計	5,350	

1.地域になじみや愛着がある  
 3.自然環境に恵まれている  
 15.先祖代々の家・土地を守る必要がある  
 8.騒音・悪臭などの公害が少ない

問5 関連 移りたい理由は何ですか（4つまで）

（「町内で別の場所へ・機会があれば町外へ・すぐにでも町外へ、移りたい・出たい」と答えられた方への質問）

「医療施設の少なさ」「買い物などが不便」「通勤・通学が不便」「余暇施設・イベントの少なさ」が、前回と同様の順位で挙がっており、主要な町外転出の理由は、9年前と変わっていません。また、「医療施設が少ない」が高齢層に多く、「余暇施設・イベントの少なさ」が若年層に多い傾向も、前回と同様です。

○移りたい理由(n=368)

区分	実数	比率
1.専門的な医療施設が少ない	237	64.4%
2.買い物など消費生活が不便	222	60.3%
3.通勤・通学など交通が不便	204	55.4%
4.余暇を楽しむ施設やイベントが少ない	169	45.9%
5.近所付き合いがわずらわしい	89	24.2%
6.子育てに役立つ施設が少ない	82	22.3%
7.日当たりや周辺環境など居住環境が悪い	37	10.1%
8.家が古い狭いなど住居の状況が悪い	28	7.6%
9.仕事の関係で転居の必要がある	21	5.7%
10.家族の都合で	20	5.4%
11.住居費の関係で	16	4.3%
12.その他	44	12.0%
13.不明・無回答	3	0.8%
計	1,172	

【H26アンケート】

(n=629)

区分	実数	比率
11.医療施設	451	71.7%
3.買い物	350	55.6%
4.余暇	244	38.8%
1.通勤不便	166	26.4%
8.近所付き合い	153	24.3%
2.通学不便	75	11.9%
上記以外	399	
計	1,838	

- 11.医療施設が少ない
- 3.買い物などが不便である
- 4.余暇を楽しむ施設やイベントが少ない
- 1.通勤が不便である
- 8.近所付き合いがわずらわしい
- 2.通学が不便である

○年齢別

区分	1.医療施設	2.消費生活	3.通勤通学	4.余暇	5.近所付き合い	左記以外	計	n
10歳代	7	22	25	20	1	11	86	28
20歳代	30	41	41	38	8	37	195	61
30歳代	45	40	33	31	17	48	214	70
40歳代	44	40	34	25	14	52	209	64
50歳代	54	40	42	29	20	50	235	70
60歳代	36	20	21	15	21	32	145	45
70歳以上	20	18	8	10	8	20	84	29
計	236	221	204	168	89	250	1,168	

区分	1.医療施設	2.消費生活	3.通勤通学	4.余暇	5.近所付き合い
10歳代	25.0%	78.6%	89.3%	71.4%	3.6%
20歳代	49.2%	67.2%	67.2%	62.3%	13.1%
30歳代	64.3%	57.1%	47.1%	44.3%	24.3%
40歳代	68.8%	62.5%	53.1%	39.1%	21.9%
50歳代	77.1%	57.1%	60.0%	41.4%	28.6%
60歳代	80.0%	44.4%	46.7%	33.3%	46.7%
70歳以上	69.0%	62.1%	27.6%	34.5%	27.6%



問6 関連 職場、学校以外で行われている活動への参加の程度

前回は今回も、半数以上の方が「(あまり・ほとんど)参加しない」という回答であり、年齢層が上がるに従って参加する割合が高まる点も、前回と同じであると言えます。

区分	実数	比率
1.ほとんど参加しない	536	30.6%
4.つきあい上、ある程度参加している	362	20.7%
3.興味のあるものや関係のあるものだけ参加している	337	19.2%
2.あまり参加しない	315	18.0%
5.積極的に参加している	141	8.1%
6.不明・無回答	60	3.4%
計	1,751	

【H26アンケート】

区分	実数	構成比
5.ほとんど	1,117	35.7%
2.つきあい上	621	19.8%
3.興味関係	574	18.3%
4.あまり	503	16.1%
1.積極的	315	10.1%
計	3,130	100.0%

区分	1.積極的	2.つきあい上	3.興味関係	4.あまり	5.ほとんど	6.不明等	計
10歳代	2	6	9	13	30	1	61
20歳代	9	10	30	32	95	2	178
30歳代	9	40	32	38	76	1	196
40歳代	18	56	46	51	71	3	245
50歳代	39	90	80	80	111	6	406
60歳代	39	97	87	66	82	13	384
70歳以上	25	63	52	33	70	33	276
計	141	362	336	313	535	59	1,746

区分	1.積極的	2.つきあい上	3.興味関係	4.あまり	5.ほとんど	6.不明等
10歳代	3.3%	9.8%	14.8%	21.3%	49.2%	1.6%
20歳代	5.1%	5.6%	16.9%	18.0%	53.4%	1.1%
30歳代	4.6%	20.4%	16.3%	19.4%	38.8%	0.5%
40歳代	7.3%	22.9%	18.8%	20.8%	29.0%	1.2%
50歳代	9.6%	22.2%	19.7%	19.7%	27.3%	1.5%
60歳代	10.2%	25.3%	22.7%	17.2%	21.4%	3.4%
70歳以上	9.1%	22.8%	18.8%	12.0%	25.4%	12.0%

問8 関連 活動に参加されない理由  
 (「あまり・ほとんど参加しない」と回答された方への質問)

前回と同様、「いそがしくて時間がない」が他の選択肢を引き離して、最も多くの理由となっています。

区分	実数	比率
1.いそがしくて時間がとれない	406	47.7%
2.一緒に参加する仲間がいない	103	12.1%
3.活動が特定の人にかたよっている	80	9.4%
4.内容が面白くない	47	5.5%
5.地域活動は必要だと思わない	21	2.5%
6.指導者に恵まれていない	5	0.6%
7.参加している人と気が合わない	4	0.5%
8.その他	113	13.3%
9.不明・無回答	72	8.5%
計	851	

【H26アンケート】  
 (n=1466)

区分	実数	比率
1.時間がない	890	60.7%
8.高齢	291	19.8%
上記以外	846	
計	2,027	

1.いそがしくて時間がない  
 8.高齢のため

問9 関連 老後に不安を感じる事 (3つまで)

前回と同様、「健康のこと」を約7割の方が挙げられています。今回、「近くに総合病院がないこと」「交通・移動手段」という選択肢を設定したところ、多くの方が選択されました。新規選択肢を除くと、「生活費のこと」が2番目に多く挙がることになり、前回と同じような事項が老後の不安として挙がっています。また、高齢層で「健康のこと」、若年層で「生活費のこと」の割合が高くなっている点も、前回と同様の傾向と言えます。

(n=1751)

区分	実数	比率
1.健康のこと	1,291	73.7%
2.生活費のこと	905	51.7%
3.身のまわりの世話をしてもらう人のこと	664	37.9%
4.税金のこと	484	27.6%
5.仕事ができなくなる事	471	26.9%
6.後継者のこと	207	11.8%
7.住まいのこと	169	9.7%
8.特に不安を感じない	91	5.2%
9.その他	76	4.3%
10.不明・無回答	13	0.7%
計	4,371	

【H26アンケート】  
 (n=3103)

区分	実数	比率
2.健康	2,021	65.1%
8.総合病院	1,705	54.9%
3.生活費	1,184	38.2%
9.交通手段	1,014	32.7%
上記以外	2,473	
計	8,397	

2.健康のこと  
 8.近くに総合病院がないこと  
 3.生活費のこと  
 9.交通・移動手段

問9 関連 続き

区分	1.健康	2.生活費	3.世話人	4.税金	5.仕事	左記以外	計	n
10歳代	34	41	17	26	18	18	154	61
20歳代	86	115	46	90	39	61	437	178
30歳代	117	149	47	70	48	54	485	196
40歳代	174	156	78	66	75	63	612	245
50歳代	324	217	145	100	122	123	1,031	406
60歳代	328	154	169	95	90	129	965	384
70歳以上	225	68	160	37	78	106	674	276
計	1,288	900	662	484	470	554	4,358	1,746

区分	1.健康	2.生活費	3.世話人	4.税金	5.仕事
10歳代	55.7%	67.2%	27.9%	42.6%	29.5%
20歳代	48.3%	64.6%	25.8%	50.6%	21.9%
30歳代	59.7%	76.0%	24.0%	35.7%	24.5%
40歳代	71.0%	63.7%	31.8%	26.9%	30.6%
50歳代	79.8%	53.4%	35.7%	24.6%	30.0%
60歳代	85.4%	40.1%	44.0%	24.7%	23.4%
70歳以上	81.5%	24.6%	58.0%	13.4%	28.3%

問10 関連 高齢社会への対応として望ましいこと（3つまで）

今回の選択肢に「医療施設の充実」「経済的な支援」「交通・移動手段の充実」を新たに設定したところ、約半数の方が「医療施設の充実」を挙げ、約3割から「経済的な支援」「交通・移動手段の充実」が挙げられました。前回は「介護・介助など人材の育成と確保」が約半数の方から挙がっていますが、今回も「在宅介護・介助サービス」の充実が上位に挙がっています。選択肢の設定が異なっている影響がありますが、前回約4割を占め、2番目に多かった「高齢者の生きがいづくり」は、今回も約3割を占めています。

(n=1751)

区分	実数	比率
1.介護・介助など人材の育成と確保	927	52.9%
2.高齢者の生きがいづくり	771	44.0%
3.生活補助の充実	701	40.0%
4.老人ホームの整備	645	36.8%
5.健康の維持増進活動	568	32.4%
6.雇用の場の確保	491	28.0%
7.高齢者に配慮した住宅環境づくり	320	18.3%
8.その他	56	3.2%
9.不明	40	2.3%
計	4,519	

【H26アンケート】

(n=3093)

区分	実数	比率
6.医療施設	1,616	52.2%
3.経済的な支援	1,043	33.7%
10.交通手段	989	32.0%
5.在宅介護等	974	31.5%
9.介護施設	963	31.1%
1.いきがい	888	28.7%
上記以外	2,052	
計	8,525	

6.医療施設  
3.経済的な支援  
10.交通・移動手段  
5.在宅介護・介助サービス  
9.介護施設の整備  
1.高齢者の生きがいづくり

問11 関連 少子化対策として必要なこと（3つまで）

前回にはなかった「保育所・託児施設の整備充実」が今回、半数近くの方から挙がっています。前回約6割の方から挙がった経済的な支援については、今回も約4割の方から挙がっており、2番目に多くなっています。年齢別に見ると、前回20～30歳代で経済的な支援を求める声が7割を超え、今回も同様の傾向を示しています。

(n=1751)

区分	実数	比率
1.児童手当、所得税制による子育て支援を充実する	1,067	60.9%
2.育児後の再就職支援	834	47.6%
3.家庭・地域・学校が一体的に教育に取り組む	652	37.2%
4.子育て教育を充実する	563	32.2%
5.労働時間の短縮	297	17.0%
6.男性の育児休暇を促進する	281	16.0%
7.特に対策は必要ない	62	3.5%
8.その他	149	8.5%
9.不明・無回答	119	6.8%
計	4,024	

【H26アンケート】

(n=2941)

区分	実数	比率
2.保育所等	1,322	45.0%
4.経済的支援	1,137	38.7%
5.勤務先支援	1,109	37.7%
3.学童保育	1,106	37.6%
8.再就職支援	1,010	34.3%
上記以外	1,960	
計	7,644	

- 2.保育所・託児施設の整備充実
- 4.経済的な支援
- 5.育児休暇など、勤め先の子育て支援体制の充実促進
- 3.学童保育などの対象児童拡大や時間延長
- 8.育児後の再就職支援

区分	1.児童手当等	2.再就職支援	3.家庭等の教育	4.子育て教育	5.労働時間短縮	6.男育児休暇	左記以外	計	n
10歳代	30	31	17	21	11	27	8	145	61
20歳代	132	88	59	48	37	44	23	431	178
30歳代	141	89	58	51	37	25	31	432	196
40歳代	152	125	86	83	48	33	38	565	245
50歳代	251	215	156	129	69	65	70	955	406
60歳代	241	191	162	130	50	55	75	904	384
70歳以上	118	94	113	99	45	32	82	583	276
計	1,065	833	651	561	297	281	327	4,015	1,746

区分	1.児童手当等	2.再就職支援	3.家庭等の教育	4.子育て教育	5.労働時間短縮	6.男育児休暇
10歳代	49.2%	50.8%	27.9%	34.4%	18.0%	44.3%
20歳代	74.2%	49.4%	33.1%	27.0%	20.8%	24.7%
30歳代	71.9%	45.4%	29.6%	26.0%	18.9%	12.8%
40歳代	62.0%	51.0%	35.1%	33.9%	19.6%	13.5%
50歳代	61.8%	53.0%	38.4%	31.8%	17.0%	16.0%
60歳代	62.8%	49.7%	42.2%	33.9%	13.0%	14.3%
70歳以上	42.8%	34.1%	40.9%	35.9%	16.3%	11.6%

問12 関連 保健・医療対策について、力を入れたら良い施策（2つまで）

前回も、「休日・夜間の医療体制の充実」が5割強、「救急医療体制の充実」が5割弱と、これら2項目が上位となっていました。今回も同じ2項目がほぼ同様の比率で上がってきています。  
 なお、前回にはなかった「保健・医療機関への交通手段の利便性向上」は今回3番目に多く挙がりました。

(n=1751)

区分	実数	比率
1.休日・夜間の医療体制の充実	952	54.4%
2.救急医療体制の充実	834	47.6%
3.診療所など身近な医療機関の充実	668	38.1%
4.健康・医療相談、各種検診制度の充実	331	18.9%
5.健康づくり運動、体力づくり運動の推進	296	16.9%
6.その他	99	5.7%
7.不明・無回答	43	2.5%
計	3,223	

【H26アンケート】

(n=3074)

区分	実数	比率
1.休日・夜間	1,827	59.4%
2.救急医療	1,710	55.6%
3.交通手段	1,075	35.0%
4.相談・健診	523	17.0%
5.健康体力運動	508	16.5%
6.その他	82	2.7%
計	5,725	

- 1.休日・夜間の医療体制
- 2.救急医療体制
- 3.保健・医療機関への交通手段の利便性向上
- 4.健康・医療相談、各種検診制度
- 5.健康づくり運動、体力づくり運動の推進

問13 関連 教育・文化・レクリエーションで力を入れたら良い施策（2つまで）

前回約4割と、もっとも多かった「小中高の学校教育施設の整備」は、今回2番目となりました(ただし今回「小中高の学校教育施設・教育内容の充実」)。今回約4割弱と、もっとも多かった「図書館等の文化施設の充実」は、前回約2割となっていました。  
 男女別では、男性の方が「町民がこぞって参加できるイベントづくり」がやや多い一方、女性が「小中高の学校教育施設の整備」、「文化施設の整備」を挙げる割合がやや高くなる傾向が、前回も今回も同様に見られます。  
 年齢別では、前回も今回も同様に、「小中高教育」「スポーツ施設の整備」が年齢層が下がるにつれて多くなり、逆に「イベント実施」を求める声は年齢層が上がるに従い多くなるという大まかな傾向がうかがえます。

(n=1751)

区分	実数	比率
1.小中高の学校教育施設の整備	680	38.8%
2.町民がこぞって参加できるイベントづくり	559	31.9%
3.公園や散策路などの整備	476	27.2%
4.スポーツ・レクリエーション施設の整備	469	26.8%
5.文化施設の整備	405	23.1%
6.文化財の保護や活用	166	9.5%
7.その他	72	4.1%
8.不明・無回答	123	7.0%
計	2,950	

【H26アンケート】

(n=2851)

区分	実数	比率
5.文化施設	1,020	35.8%
1.小中高	909	31.9%
8.イベント	728	25.5%
7.文化講座等	694	24.3%
6.スポーツ施設	605	21.2%
上記以外	1,183	
計	5,139	

- 5.図書館等の文化施設の充実
- 1.小中高の学校教育施設の整備
- 8.町民がこぞって参加できるイベントの実施
- 7.文化講座・講演会やコンサートなどの実施
- 6.スポーツ施設の整備

問13 関連 続き

区分	1.小中高	2.イベント	3.公園等整備	4.スポーツ施設等	5.文化施設	6.文化財	左記以外	計	n
男性	284	282	223	233	176	76	73	1,347	786
女性	395	275	253	236	228	88	120	1,595	960
計	679	557	476	469	404	164	193	2,942	

区分	1.小中高	2.イベント	3.公園等整備	4.スポーツ施設等	5.文化施設	6.文化財
男性	36.1%	35.9%	28.4%	29.6%	22.4%	9.7%
女性	41.1%	28.6%	26.4%	24.6%	23.8%	9.2%

区分	1.小中高	2.イベント	3.公園等整備	4.スポーツ施設等	5.文化施設	6.文化財	左記以外	計	n
10歳代	27	15	17	22	13	6	5	105	61
20歳代	84	45	54	83	30	13	3	312	178
30歳代	86	44	62	57	41	8	18	316	196
40歳代	122	66	37	76	68	13	26	408	245
50歳代	138	117	120	108	111	48	43	685	406
60歳代	132	158	123	76	82	37	49	657	384
70歳以上	90	113	63	47	59	40	48	460	276
計	679	558	476	469	404	165	192	2,943	

区分	1.小中高	2.イベント	3.公園等整備	4.スポーツ施設等	5.文化施設	6.文化財
10歳代	44.3%	24.6%	27.9%	36.1%	21.3%	9.8%
20歳代	47.2%	25.3%	30.3%	46.6%	16.9%	7.3%
30歳代	43.9%	22.4%	31.6%	29.1%	20.9%	4.1%
40歳代	49.8%	26.9%	15.1%	31.0%	27.8%	5.3%
50歳代	34.0%	28.8%	29.6%	26.6%	27.3%	11.8%
60歳代	34.4%	41.1%	32.0%	19.8%	21.4%	9.6%
70歳以上	32.6%	40.9%	22.8%	17.0%	21.4%	14.5%



問14 関連 交通体系で力を入れたら良い施策（2つまで）

前回と同様、今回も「鉄道利便性の向上」が極めて多くの方から挙がっています。次いで前回約2割であった「バス交通の充実」が、今回は「コミュニティバス交通の充実」が約4割、「民間バス交通の充実」が3割弱となっており、その割合が高くなっています。年齢別に見ると、今回は「鉄道利便性」が世代を問わず7～8割となっていたのに対し、今回は年齢層が上がるにつれ、「鉄道利便性」を求める声の割合が減少しています。一方、「バス交通の充実」は前回60歳代までのどの世代も2割程度を占め、今回も「民間バス交通の充実」が60歳代までで2割前後となっていますが、新たにコミュニティバス路線が平成24年2月から開始されたことに伴い新設した「コミュニティバス交通の充実」が年齢層が上がるにつれて多くなる傾向が見られました。

(n=1751)

区分	実数	比率
1.鉄道利便性(※)の向上	1,329	75.9%
2.バス交通(路線・運行本数)の充実	364	20.8%
3.身近な生活道路・歩道の整備	338	19.3%
4.安心して歩ける歩道の整備	279	15.9%
5.交通安全施設の整備(信号・ガードレールなど)	209	11.9%
6.広域幹線道路の整備	174	9.9%
7.その他	29	1.7%
8.不明・無回答	66	3.8%
計	2,788	

※快速・新快速の増便、乗り継ぎの解消など

区分	1.鉄道利便性	2.バス	3.生活道路等	4.安心歩道	左記以外	計	n
10歳代	48	11	15	18	12	104	61
20歳代	144	26	35	17	44	266	178
30歳代	141	41	41	40	46	309	196
40歳代	188	58	47	29	70	392	245
50歳代	314	85	71	57	109	636	406
60歳代	310	68	79	58	110	625	384
70歳以上	182	74	49	59	83	447	276
計	1,327	363	337	278	474	2,779	

区分	1.鉄道利便性	2.バス	3.生活道路等	4.安心歩道
10歳代	78.7%	18.0%	24.6%	29.5%
20歳代	80.9%	14.6%	19.7%	9.6%
30歳代	71.9%	20.9%	20.9%	20.4%
40歳代	76.7%	23.7%	19.2%	11.8%
50歳代	77.3%	20.9%	17.5%	14.0%
60歳代	80.7%	17.7%	20.6%	15.1%
70歳以上	65.9%	26.8%	17.8%	21.4%

【H26アンケート】

(n=2991)

区分	実数	比率
1.鉄道利便性	1,807	60.4%
5.コミュニティバス	1,110	37.1%
4.民間バス	759	25.4%
3.生活道路等	619	20.7%
上記以外	1,071	
計	5,366	

- 1.鉄道利便性   
 5.コミュニティバス交通(路線・運行本数)の充実   
 4.民間バス交通(路線・運行本数)の充実   
 3.身近な生活道路・歩道の整備

問15 関連 鉄道利便性について、力を入れたら良い施策（該当すべて）  
 （交通体系で力を入れたら良い施策として、「鉄道利便性の向上」と答えられた方への質問）

前回は前回も、8割前後の極めて多くの方から、「快速電車の上郡駅延伸（＝乗換便の解消）」、「姫路・岡山間の直通電車の増便」を  
 求める声が上がっています。また前回「上郡駅の自動改札機の導入」が3割弱を占めましたが、今回「上郡駅のICOCA機導入」が約3  
 割と、ほぼ同様の割合を占めています。  
 なお、前回4割弱の「上郡町を再訪問したくなるような魅力アップづくりとイベント開催」が、今回は2割弱（「上郡町内の観光名所・イ  
 ベント等の魅力アップ」となりました（ただし今回は複数回答3つまで、という制限あり）。

(n=1329)

区分	実数	比率
1.快速電車の上郡駅延伸	1,076	81.0%
2.姫路・岡山間の直通電車の増便	1,068	80.4%
3.上郡町を再訪問したくなるような魅力アップづくりとイベント開催	471	35.4%
4.乗車券の往復・定期券・特急券等の地元での購入促進	343	25.8%
5.上郡駅の自動改札機の導入	333	25.1%
6.駅舎のバリアフリー化の促進	329	24.8%
7.上郡駅舎の美化清掃、周辺整備、駅舎整備の促進	325	24.5%
8.山陽本線・智頭線沿線市町の観光名所のネットワークづくり	297	22.3%
9.電車利用促進の啓発看板・パンフレット・広報等による推進	147	11.1%
10.その他	55	4.1%
11.不明・無回答	15	1.1%
計	4,459	

【H26アンケート】

(n=3045)

区分	実数	比率
4.(直通)上郡姫路	2,496	82.0%
3.(直通)姫路岡山	2,240	73.6%
5.ICOCA	963	31.6%
8.ネットワーク	600	19.7%
10.観光名所等	532	17.5%
上記以外	3,696	
計	8,031	

4.相生駅での乗換便の解消（上郡駅—姫路  
 駅の直通便の増）  
 3.姫路・岡山間の直通電車の増便  
 5.上郡駅のICOCA機導入  
 8.他市町も含めた山陽本線・智頭線沿線の  
 観光名所ネットワークづくり  
 10.上郡町内の観光名所・イベント等の魅力  
 アップ

区分	1.快速	2.姫路・岡山	3.魅力・イベント	4.券購入	5.自動改札	左記以外	計	n
10歳代	32	42	10	5	16	48	153	48
20歳代	116	121	52	30	47	150	516	144
30歳代	115	111	42	26	35	125	454	141
40歳代	145	150	50	40	59	136	580	188
50歳代	270	247	120	82	72	280	1,071	314
60歳代	246	244	119	94	61	265	1,029	310
70歳以上	151	152	78	66	42	163	652	182
計	1,075	1,067	471	343	332	1,167	4,455	

区分	1.快速	2.姫路・岡山	3.魅力・イベント	4.券購入	5.自動改札
10歳代	66.7%	87.5%	20.8%	10.4%	33.3%
20歳代	80.6%	84.0%	36.1%	20.8%	32.6%
30歳代	81.6%	78.7%	29.8%	18.4%	24.8%
40歳代	77.1%	79.8%	26.6%	21.3%	31.4%
50歳代	86.0%	78.7%	38.2%	26.1%	22.9%
60歳代	79.4%	78.7%	38.4%	30.3%	19.7%
70歳以上	83.0%	83.5%	42.9%	36.3%	23.1%